

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会で用いられている AI 等のテクノロジーが持つ機能や役割、実例などの基礎的な情報を自分の言葉で説明することができる</li> <li>・簡単なプログラムを使って実際に AI を動かすことができる</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的課題について調べ、AI 等のテクノロジー活用した解決方法を提案することができる</li> <li>・AI が人々、社会にとって正しく活用されるための倫理的判断をすることができる</li> <li>・テクノロジーが人間個人、社会に与える影響を考察することが出来る</li> <li>・上記事項について、他者に適切に提示/説明することができる</li> </ul> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AI や新たな技術開発、イノベーションについてより深く知ろうとし、それをういて解決しようとする姿勢を持つことが出来る</li> <li>・社会的課題に向き合う中で、AI などに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、人間の本来の生き方について追求することができる</li> </ul>	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①実際に AI を社会で活用する人を通じて、社会で用いられている実践的な AI 活用に関わる知識を獲得することができる</li> <li>②社会課題解決のために、2 年で AI を動かした経験と、社会課題に関わる客観的なデータを基に AI を活用した具体的な提案をすることが出来る</li> </ol> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①AI を活用した社会課題の解決案について、議論などを通じて他者と協働して創造することができる</li> <li>②AI を活用した社会課題の解決案について、倫理的な判断を加味することができる</li> <li>③AI を活用した社会課題の解決案について、他者に分かりやすく提示し、他者の考え方や生き方に影響を与えることができる</li> </ol> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①AI や新たな技術開発、イノベーションについて、自発的に調べ知識を追い求めることができる</li> <li>②社会課題に向き合う中で、AI などに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、自分の生き方について追求することができる</li> </ol>	

授業日	4/18(火)	1 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】① 【思考力・判断力・表現力】①【学びに向かう力・人間性】② 本時の具体的な目標 ・自身の関心のある社会課題と他者のそれとを結びつけ、グループを作成する ・同じ分野の関心を持つ他者と議論を深めることができる		
時間 授業内容	15  15  60	・予定確認 ・クエストカップの紹介 <個人ワーク> Step 1: 自分の興味のある社会課題をロイロシンキングツール: ウェビングを用いて複数挙げる Step 2: 自分のものを画面に提示し、クラスを歩いて他の人がどう考えているか知る <全体ワーク> Step 1: 27 人の中から 6 人のリーダーを決める / 関心の発表 Step 2: 同じ分野に関心を持つリーダーの元に集まる 6 グループ (4 人×3, 5 人×3) Step 3: リーダーが再度自分の関心を語る、メンバーも自分の関心を語る (1 人 1 分) Step 4: グループでどのような社会課題に取り組むかをウェビングを用いながら方向性を決めていく →ロイロで提出	
評価方法	なし		
宿題指示	なし		